

2021年11月5日

2022年3月期 第2四半期連結業績の概要

<2022年3月期 第2四半期累計業績:連結売上収益>

重点市場である米国を中心とした需要は堅調に推移する一方、世界的な半導体の供給不足に加え、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大に起因した部品の供給制約により、国内外生産拠点で生産調整や操業の一時停止を行いました。第2四半期(2021年7-9月)の生産は第1四半期(2021年4-6月)の生産を下回り、第2四半期累計の全世界生産台数は前年同期比3.4%減の342千台、海外生産は同6.8%減の124千台、国内生産は同1.4%減の218千台となりました。

この結果を受けて、全世界販売台数は、第2四半期に前年同期比で減少したものの、第1四半期では前年同期比で大きく増加していたことから、第2四半期累計では前年同期比3.3%増の375千台となりました。海外販売台数は同3.2%増の331千台、国内販売台数は同4.5%増の44千台となりました。

連結売上収益は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の大きかった前年に対して販売台数が増加したことにより、同10.1%増の1兆3,417億円となりました。

<2022年3月期 第2四半期累計業績:連結損益>

連結損益についても、上記記載の販売台数の増加を主因とし、営業利益は前年同期比238億円増加となる545億円、税引前利益は同251億円増加となる612億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同211億円増加となる448億円となりました。

<2022年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回発表値*に対して、半導体供給不足及び東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大による生産影響等を考慮し、全世界販売台数は130千台減の830千台(前年同期比3.5%減)、売上収益は4,000億円減の2兆9,000億円(同2.5%増)、営業利益は500億円減の1,500億円(同46.4%増)、税引前利益は480億円減の1,550億円(同36.0%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は300億円減の1,100億円(同43.8%増)にそれぞれ修正します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥110/US\$、¥130/EUROです。

* 2021年8月3日発表

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。